

2026

株式会社セカンドセレクション
会社案内



株式会社セカンドセレクション

セカンドセレクション = 第二の選択肢

私たちは、日々複雑化・多様化する社会の中で、お客様一人ひとりにとって「本当に必要な選択肢」をお届けすることを使命としています。


社名に込めた想い、それは「セカンドセレクション = 第二の選択肢」。

世の中の出来事は正解が一つとは限らず、ときに「もう一つの視点」や「別の道」が、**新しい可能性を切り拓くきっかけ**になると私たちは信じています。

医療の世界に「セカンドオピニオン」があるように、テクノロジーの世界において、**お客様が気づかなかった選択肢を提示**し、私たちならではの付加価値を提供できる存在でありたい。そのような想いで、日々変化を前向きに捉えながら、成長と挑戦を続けてまいります。



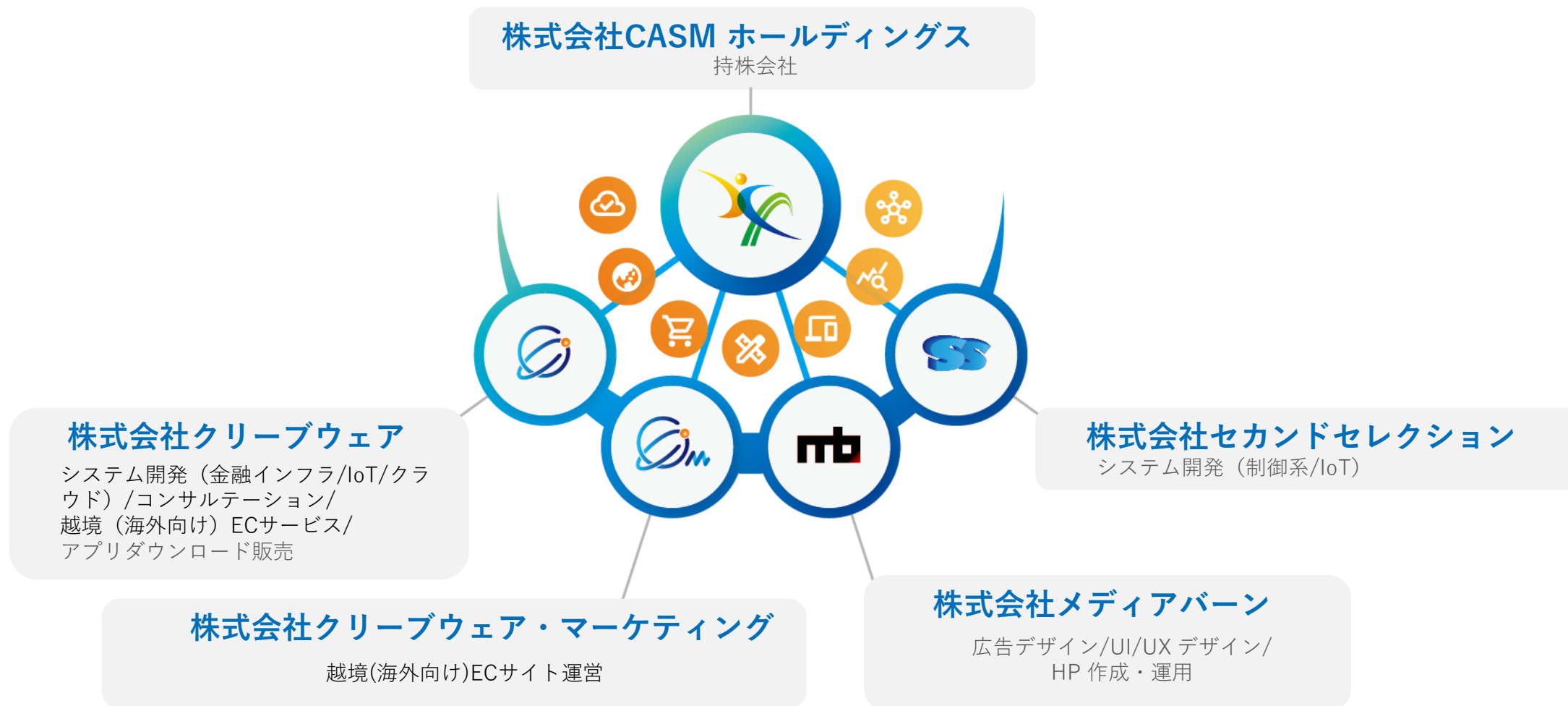
会社概要

設立	2007年6月21日（第21期）	
代表者	代表取締役 丸岡 慶士	
事業内容	システム開発（IoT通信、組込み開発、Webアプリケーション開発、AI） システム保守・運用、コンサルティング事業	
売上 （第20期）	単体：2.83億円 グループ合計：33.6億円	
資本金	20,000千円	
従業員数	21名（2025/10/1 現在）	
事業所	大阪本社 大阪府大阪市北区豊崎3-20-12 パールグレイビル 8F	
グループ会社	株式会社CASMホールディングス、株式会社クリーブウェア、株式会社クリーブウェア・マーケティング、株式会社メディアバーン	
主要取引先 （順不同）	オムロン株式会社、帝人株式会社、株式会社NTT スマイルエナジー、株式会社かんでんエンジニアリング、第一実業ビスウィル株式会社、東レエンジニアリング株式会社、株式会社クボタ、TOPPAN株式会社、理化学研究所(SPring-8)、コニカミノルタ株式会社、パナソニック株式会社、ダイキン工業株式会社、スミセイ情報システム株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ	

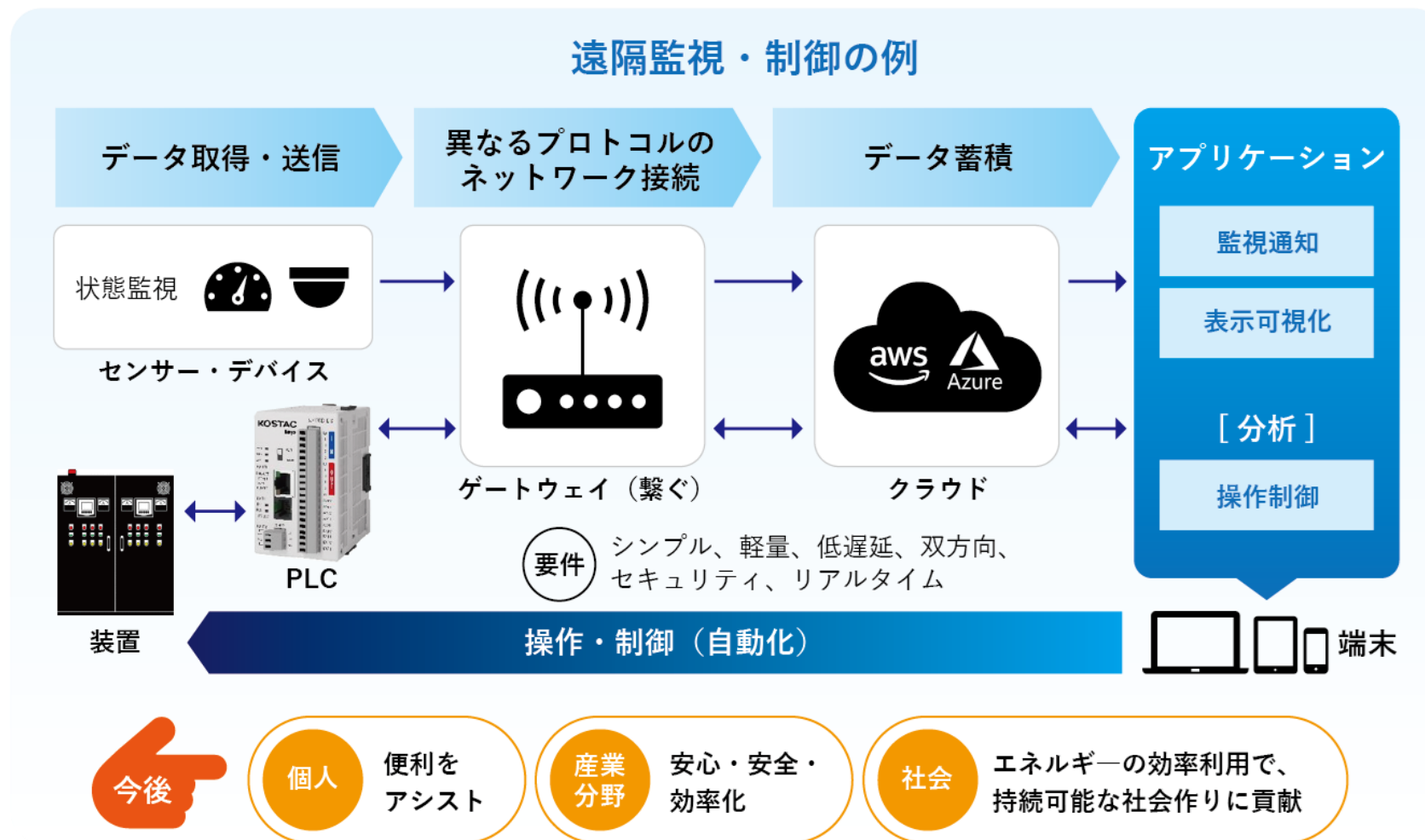
大阪本社

グループ会社のご紹介

情報技術で豊かな未来を創造する

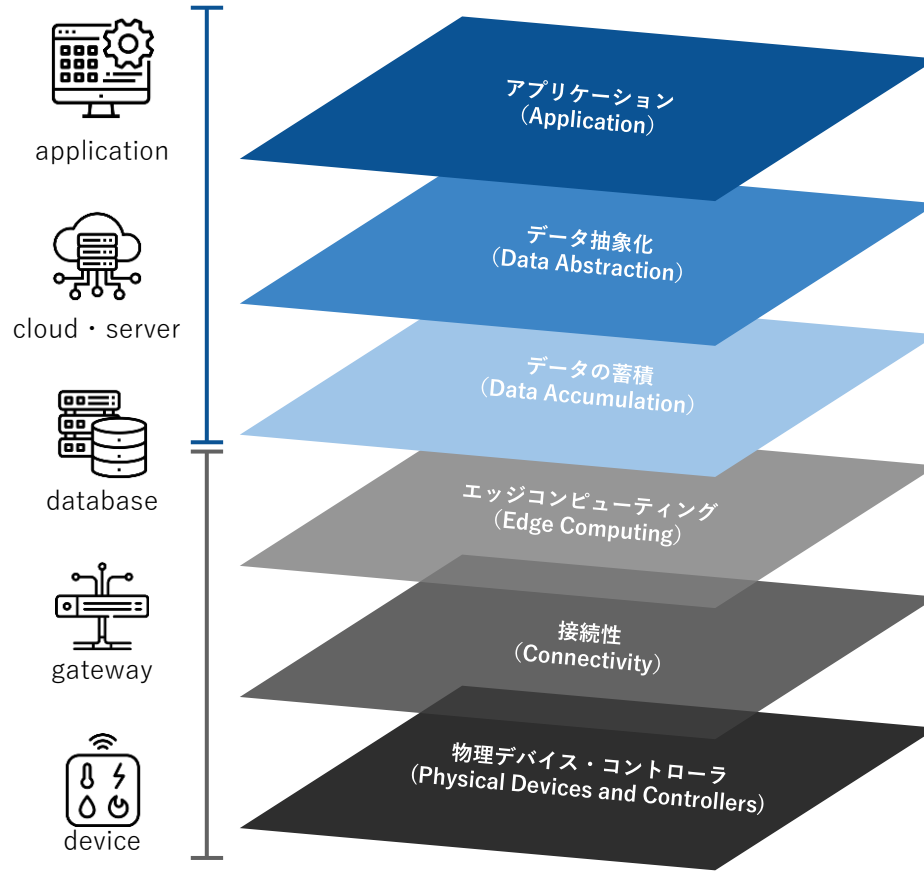


IoTシステム開発（エッジ・クラウド）に強み

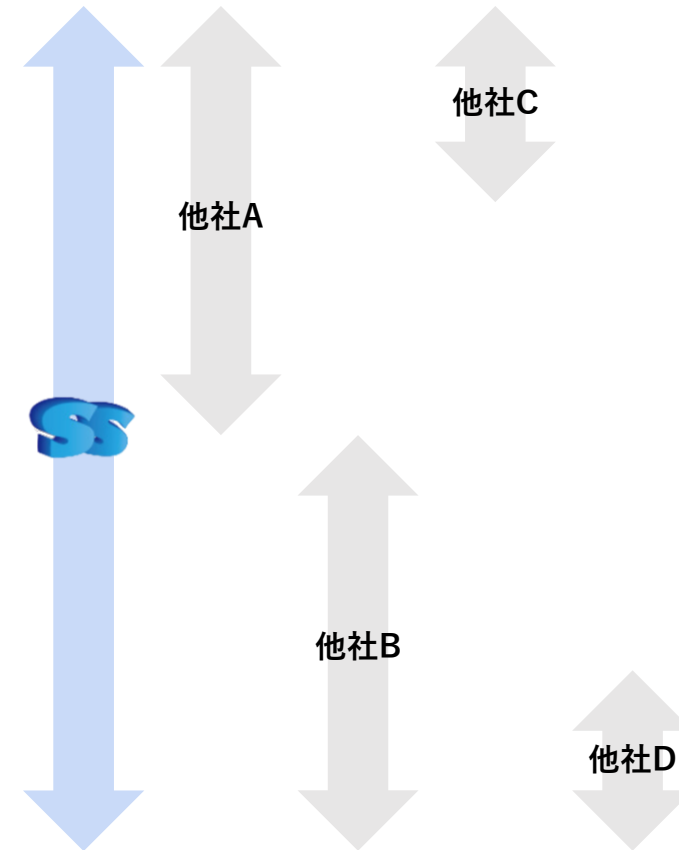


IoTシステム開発の担当領域と優位性

IoTシステム開発各階層



IoT領域同業他社様との違い



開発実績

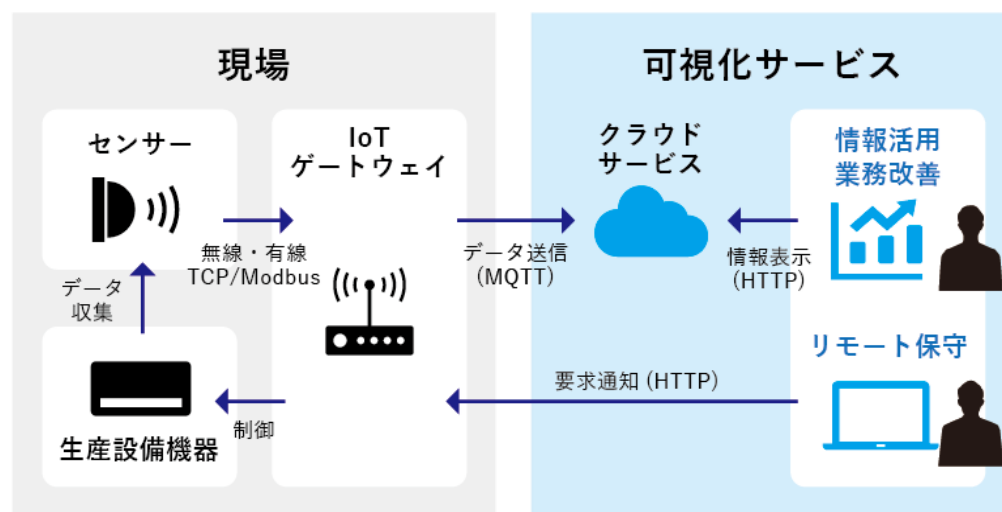
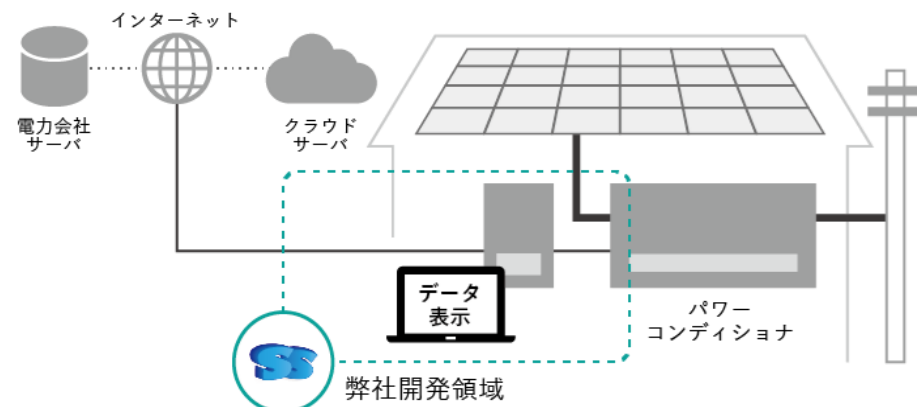


株式会社セカンドセレクション

太陽光発電・出力制御ゲートウェイシステム

パワーコンディショナのゲートウェイ装置・表示装置の制御アプリケーションを開発

独自プロトコルでのパワーコンディショナ通信、HTTPSによるクラウド通信、WEB画面によるデータ表示・設定など、ゲートウェイ装置に必要な全機能の制御アプリケーションを開発。派生機種、機能追加などの開発案件を長期間継続して担当しました。



機能強化 (ECHONET Lite)

- ⇒ 遠隔ソフトウェア更新
- ⇒ 自家消費制御機器リプレイス
- ⇒ ZEH優先対応

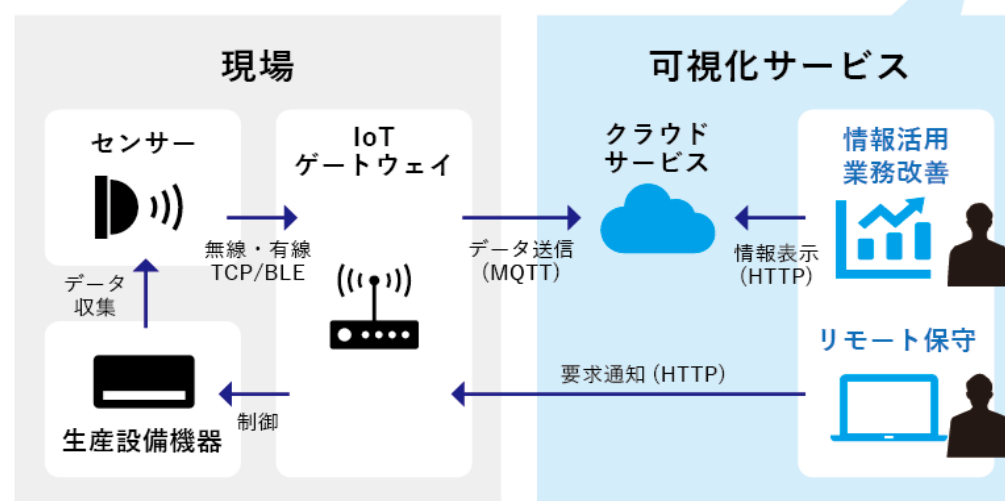
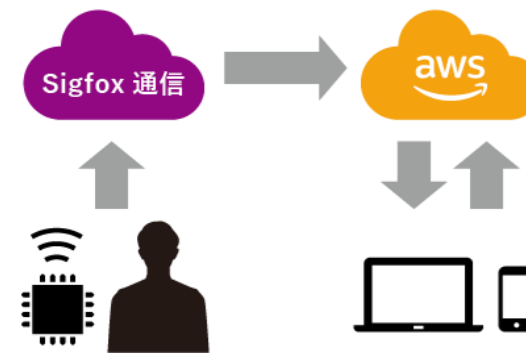
マルチ蓄電への各種設定変更

- ⇒ 産業システム設定
- ⇒ ユニット単位設定
- ⇒ 並列時の許容設定

Sigfox通信とAWSによる製品のIoT化

準備・開発コストの削減

既存の製品にセンサーを取り付けることで
環境データとユーザーデータの収集を可能にしました。
製品化に向けた実証実験において、Sigfox規格を採用することで
ゲートウェイや通信手段の準備コストの削減、
AWSサービスを活用することで開発コスト削減を実現しました。



BEMSゲートウェイ

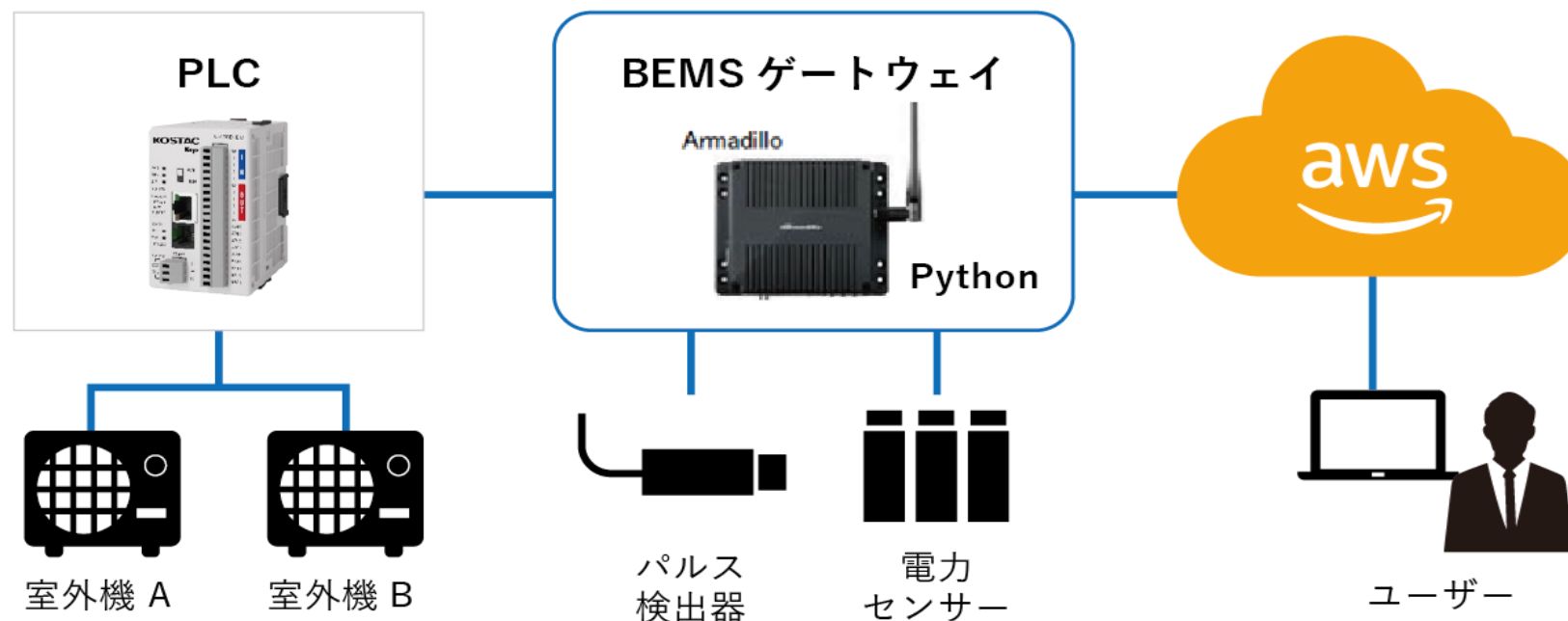
ゲートウェイ経由でPLC・装置を制御（自動化）

センサー・デバイスでデータ取得 ⇒ クラウドに蓄積 ⇒ 通知、見える化

商業施設や病院、ビルの空調設備の省エネに関する情報を収集する

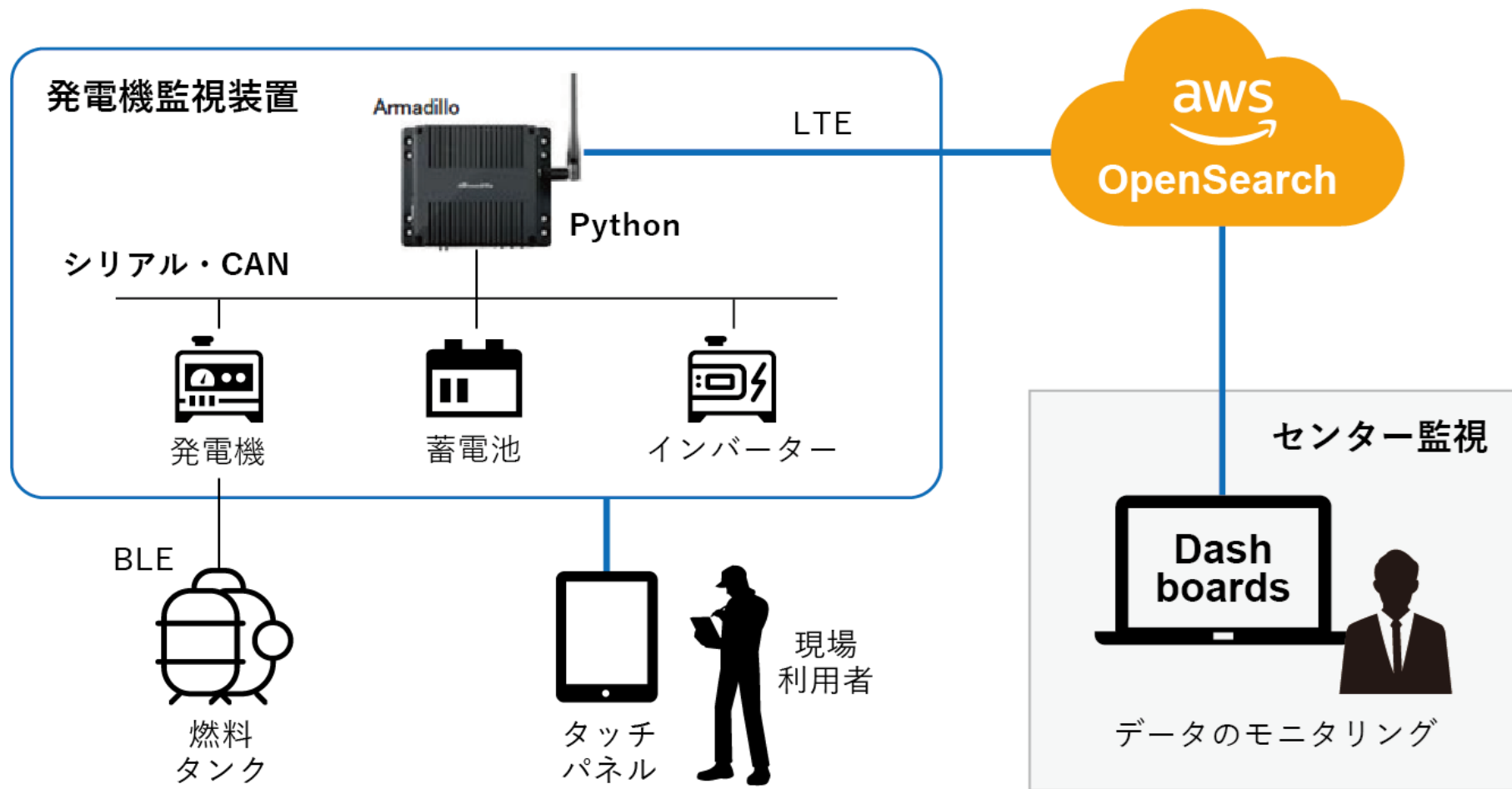
ゲートウェイシステムを開発しました。

遠隔空調（出力）制御により、エネルギーの効率利用に貢献いたします。



エネルギーの見える化

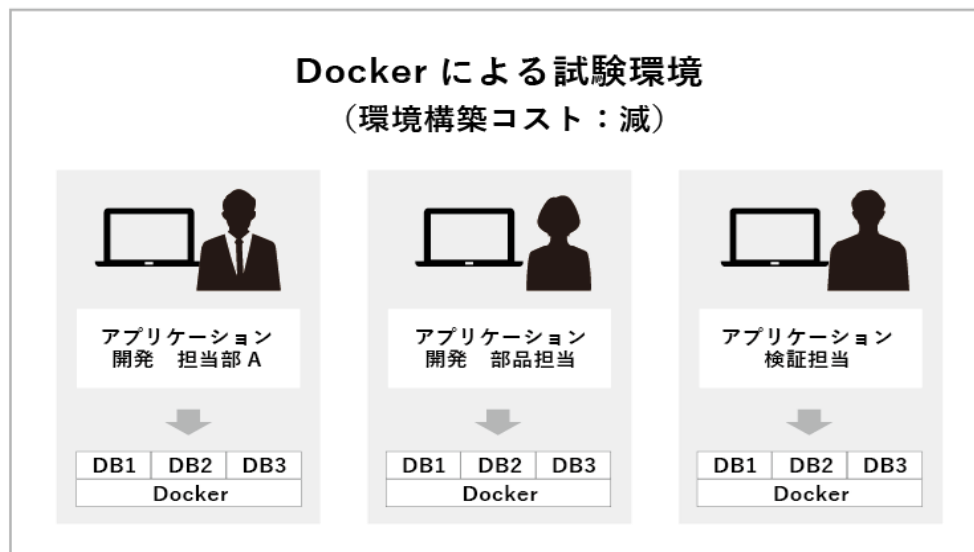
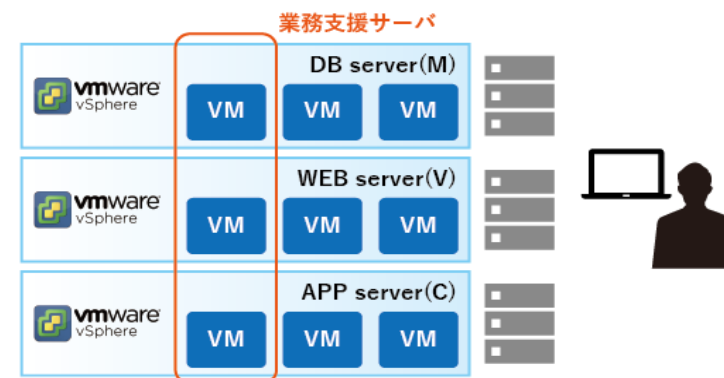
バッテリー装置情報を収集するゲートウェイシステムの開発



電力会社向けシステムリプレイス

電力会社向けデータ収集ユーザ業務、支援サーバの再構築

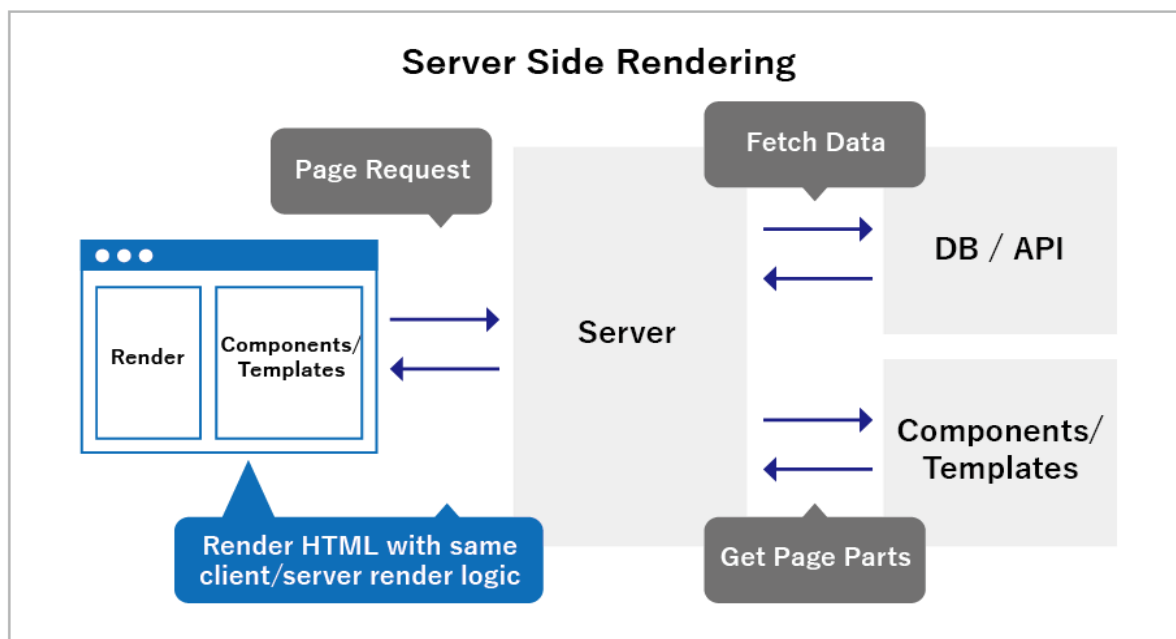
既存システム構成からの拡張性やメンテナンス性を考慮した変更提案、vSphereによるサーバ構成仮想化と標準化、既存ソフトウェア構成からの機能分割によるソフトウェア構成再設計を実施。また、PostgreSQLを使用したデータ冗長化やOracleとのDB連携、更にUIとしてExcelVBAから、PHPによるWebGUIを実現しました。



Nuxt.jsによるSPA・SSRの開発

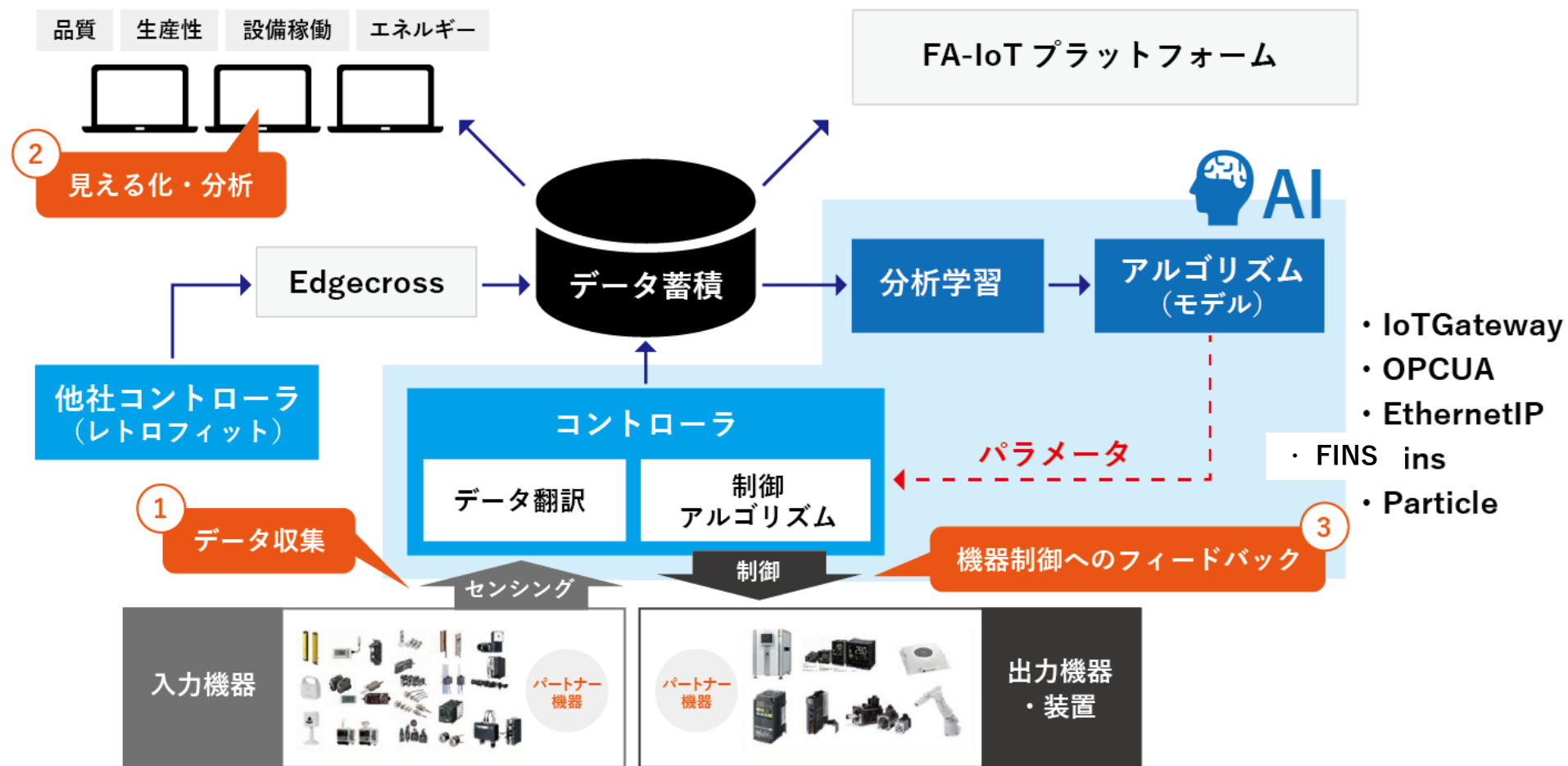
ユーザの操作性向上のため、ページの部分を高速に繊維させる技術としてSPAを取り入れたことでユーザの待ち時間が少なく、サクサク操作できる

SSRをVue.jsベースで手軽に実装できるNuxt.jsを使った開発を行います。



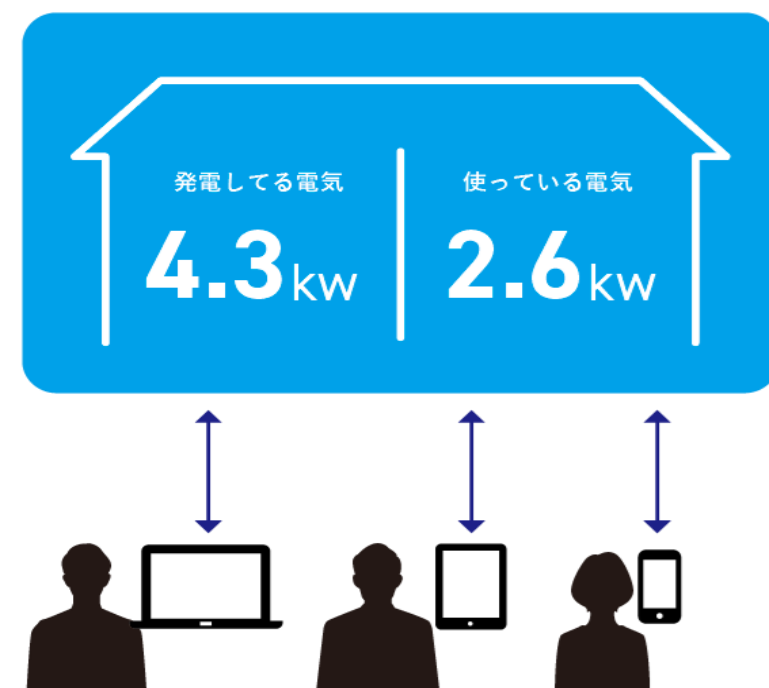
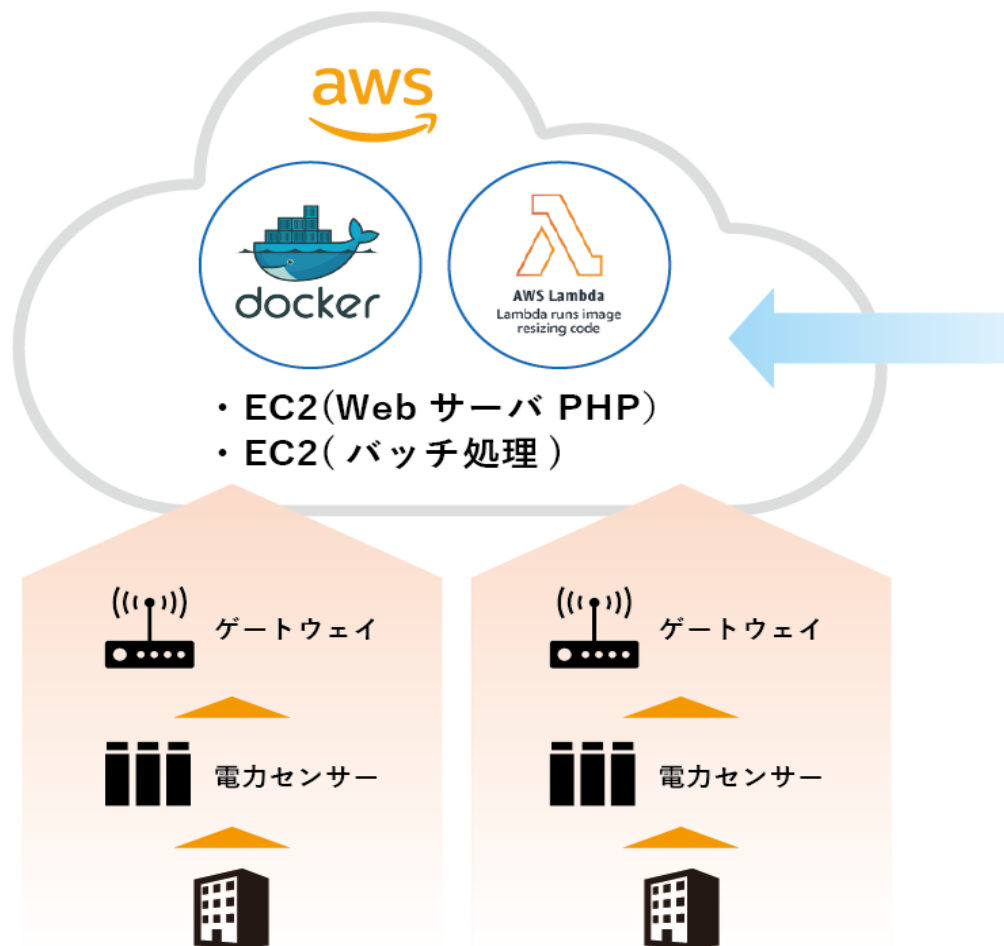
データ活用基盤開発

PLCや外部機器の情報を収集するデータ収集システムの構築



遠隔エネルギー監視

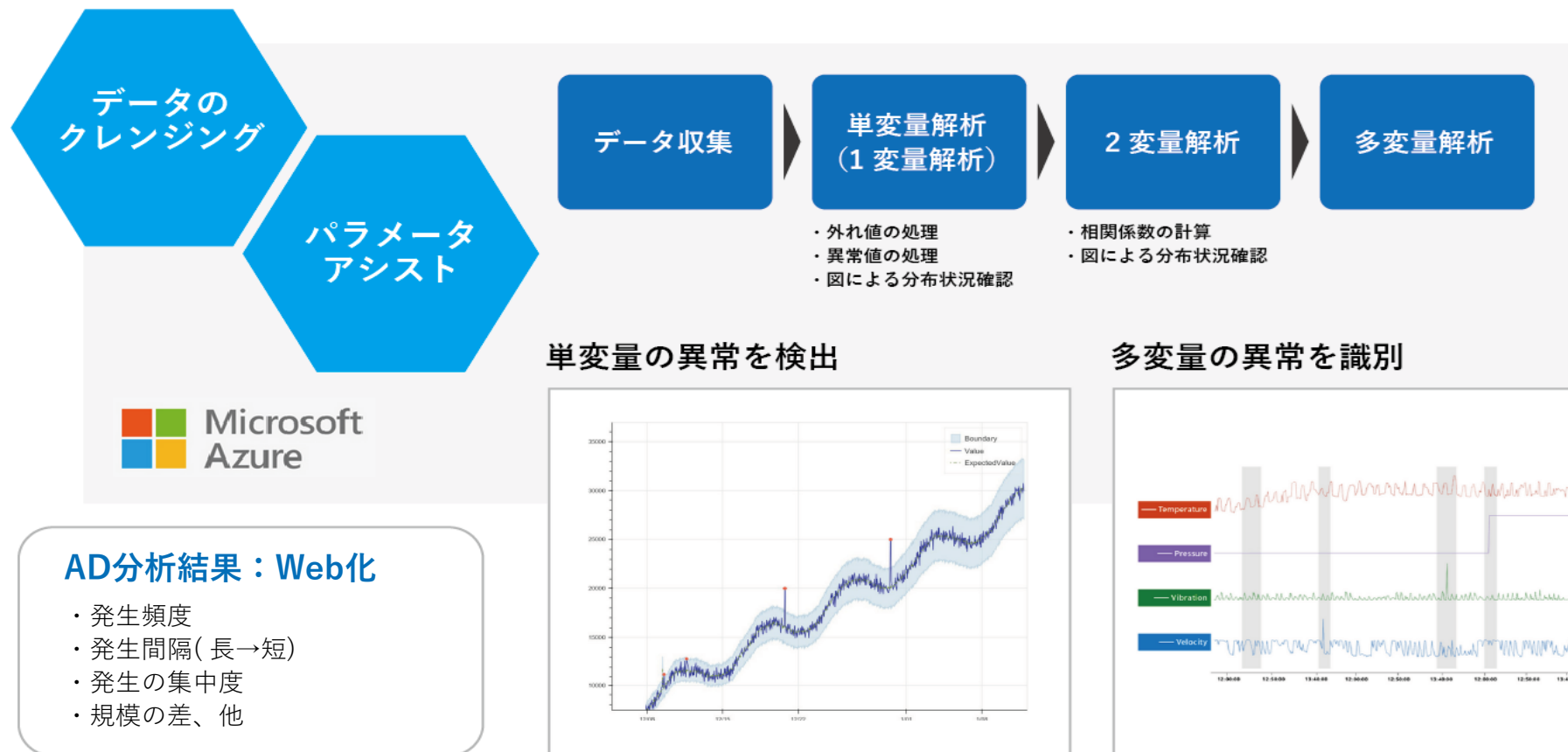
エネルギーの効率的な利用に貢献



発生前に問題を予測するためのAI活用

Anomaly Detector

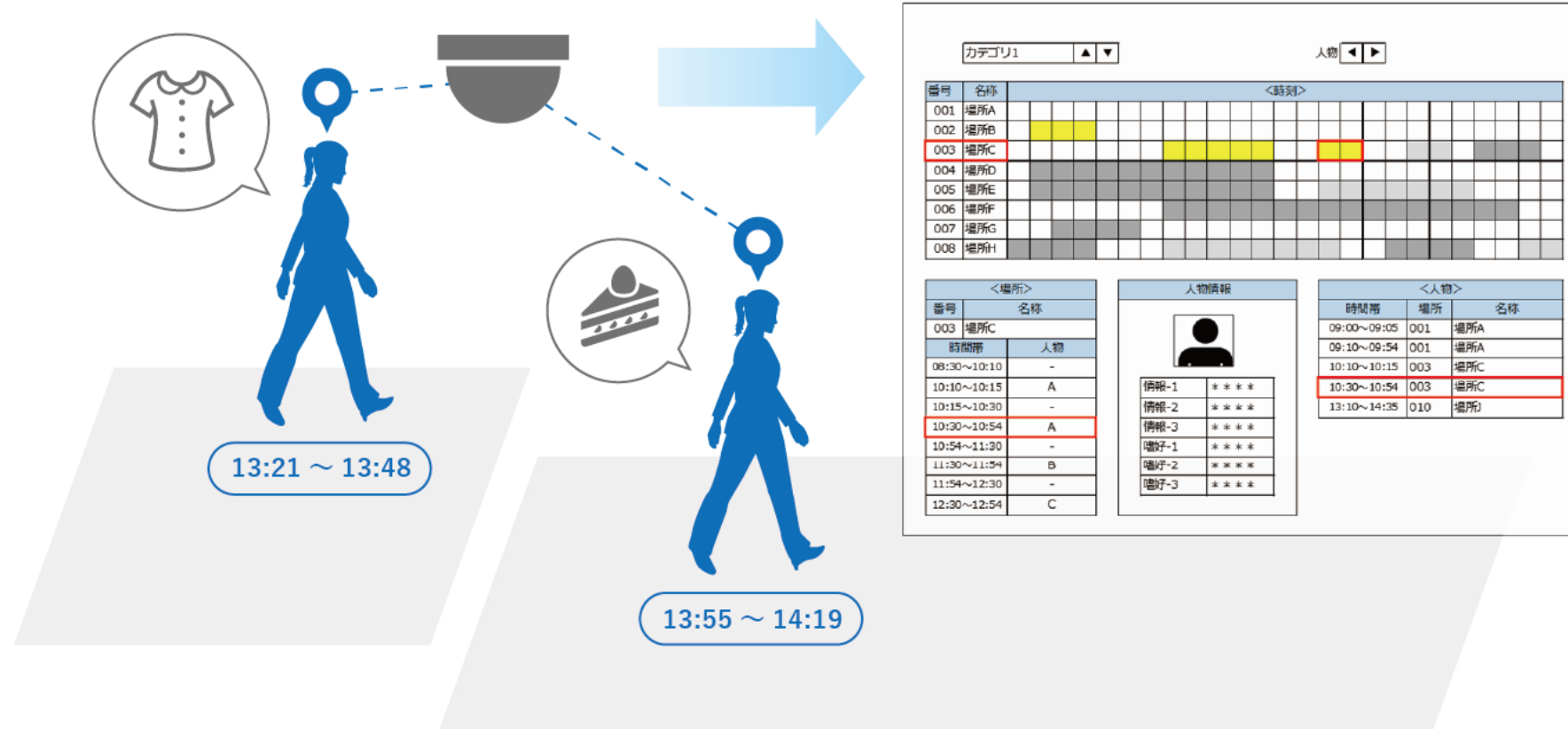
早期に問題を検出してビジネスの信頼性を向上



人物追跡システム

人物をAI追跡、滞在時間を特定

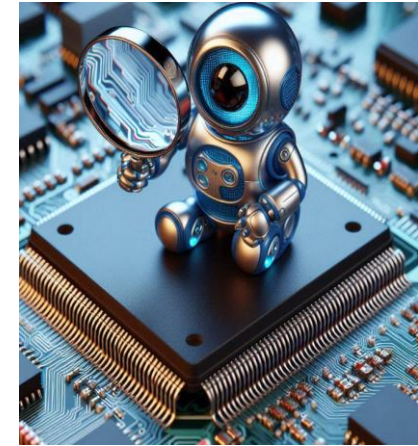
施設に滞在する人物をカメラ映像を基にAIで追跡し、
ある位置における滞在時間を特定、嗜好と紐づけて傾向を分析



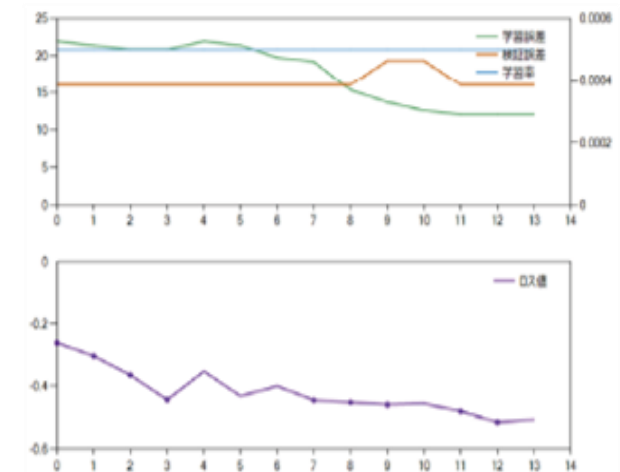
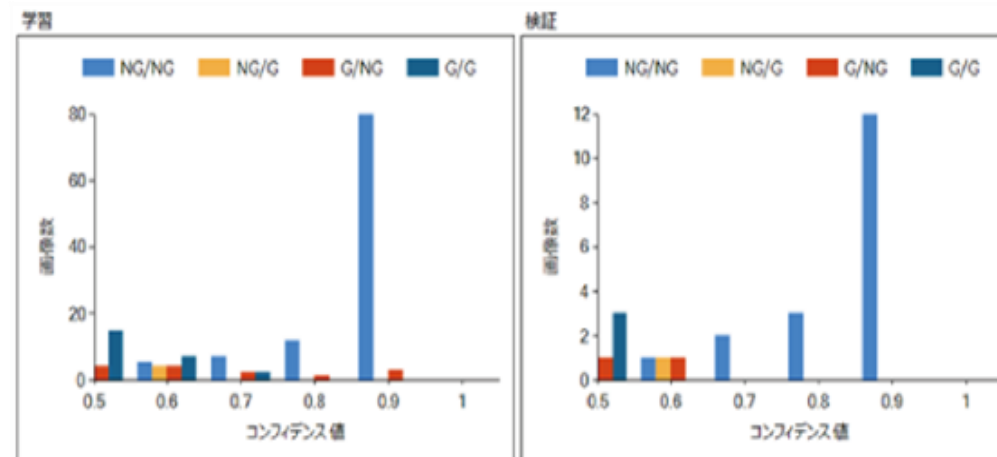
AI検査

AIを使用し、評価・識別

撮像された電子チップの良品、不良品画像を用いて、
AIを使用し評価・識別、良品・不良品の識別精度を向上させる



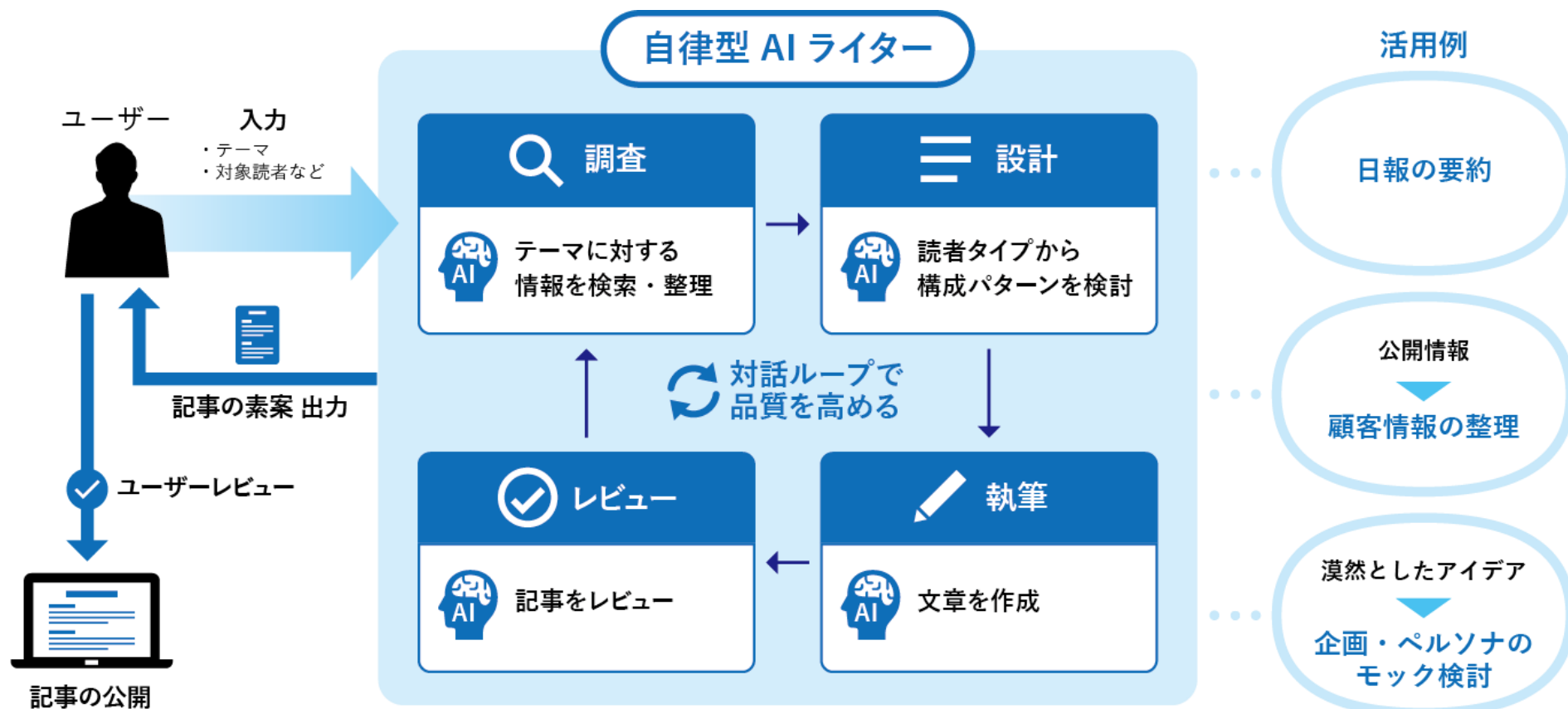
AIによる
評価・識別



マルチAIエージェントの活用

自律型AIライター構築による記事作成の自動化

複数のAI エージェントが役割を分担し連携（マルチエージェント方式）
大まかな入力情報から自動で記事を生成する



採用コンサルティング [大手生保会社様]

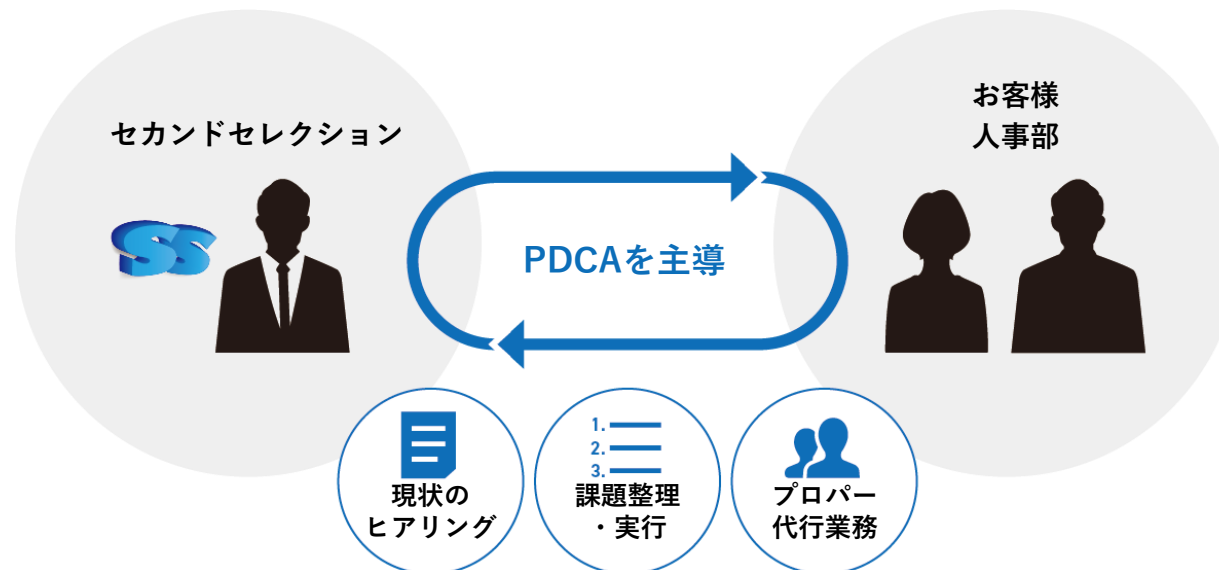
約1,500名規模の某大手生命保険会社のIT子会社様に対して、採用業務支援を実施

【課題】

- ・新卒採用における競争激化・母集団形成の苦戦
- ・要員不足によるプロパー業務のひっ迫

【取組み】

- ・新卒採用における母集団形成、ナビサイト運営、インターンシップ運営業務改善を支援
- ・ダイレクトメール、スカウト送付の企画・実行、ナビサイト運営ベンダーとの折衝、効果測定を通じて、インターンシップエントリー数前年比366%を実現
- ・インターンシップでは、プロパー代行として学生へのフィードバックや運営のサポートを担当

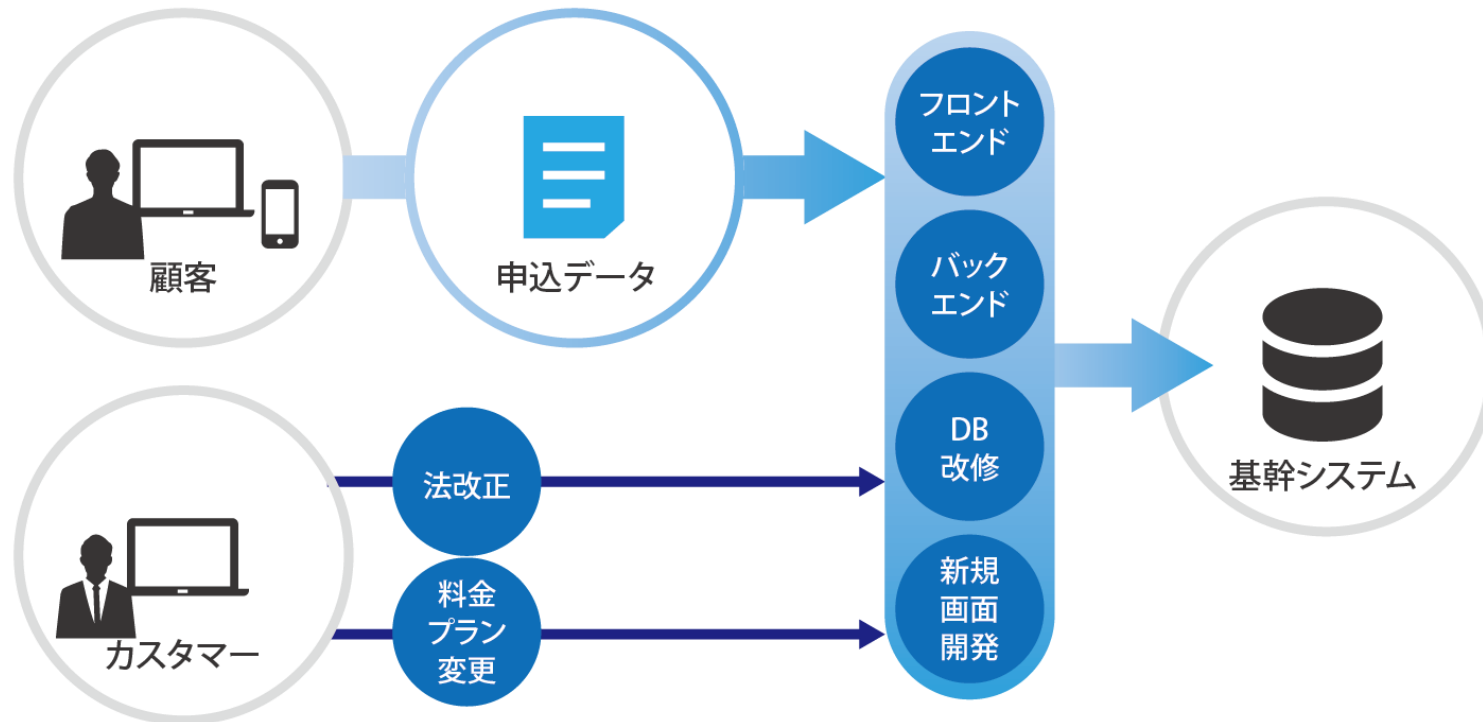


エネルギー事業様向け 申込情報管理システムの保守開発

顧客の各種申込情報を基幹システムへ連携するWeb公開システムの保守と開発。

顧客の各種申込情報を基幹システムへ連携するWeb公開システムの保守と開発。

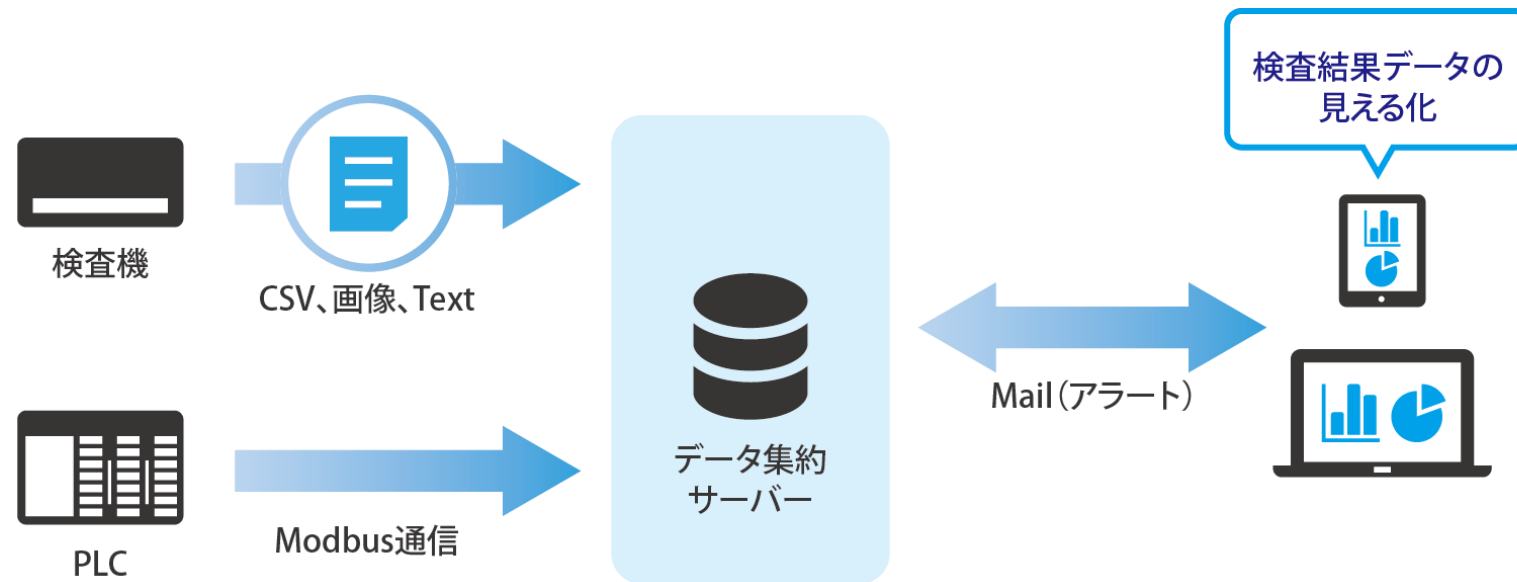
法改正や料金プラン変更などによるフロントエンド・バックエンド・DBの修正・新規画面開発を行う。



外観検査機 検査結果データ収集システム

検査機に関するデータを収集し、PCやタブレットなどで検査結果を見える化するシステムの構築。

- ・ 検査機の情報直接、またはPLC経由で収集するデータ収集制御を実現
- ・ Web UIによる見える化を実現



業務改善ツール導入支援

クライアント

大手制御機器メーカー

顧客課題

自社パッケージをお客様に導入いただく際に、高品質のサポート・顧客対応をすることで顧客満足度の向上を図りたい。

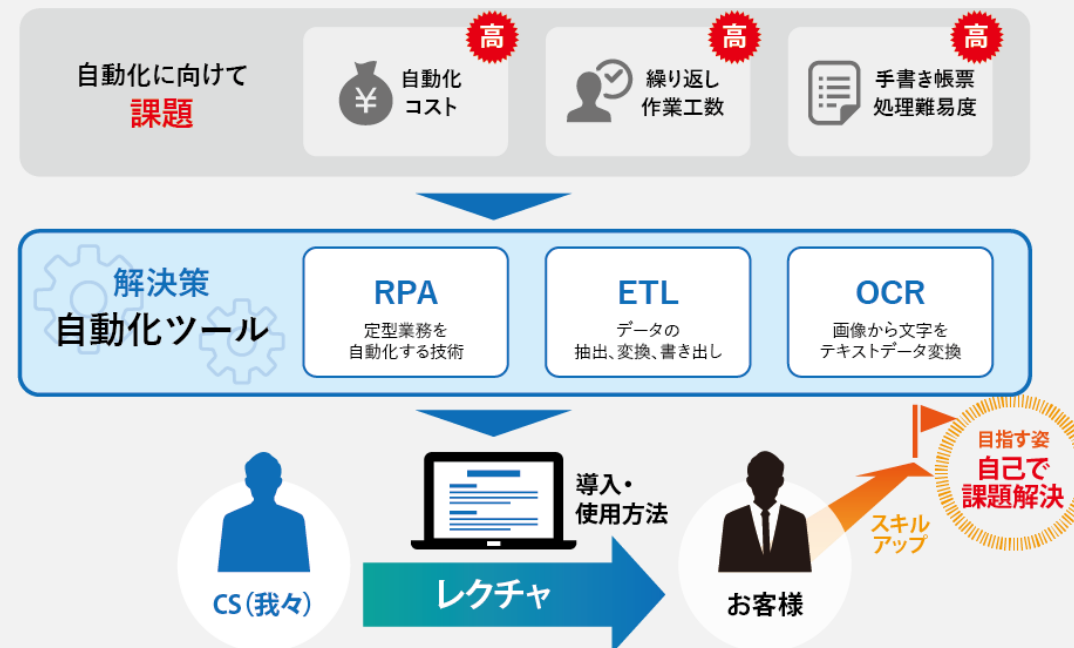
主な技術要素

- ・教育スキル
- ・対顧客コミュニケーション力
- ・自動化ツール利用
- ・MS Office

開発内容

ノーコードの自動化ツールの導入サポート・顧客教育を実施。

将来、顧客自身でこのツールを使いながら業務課題改善ができるよう、オンラインにてツールの使用方法などをレクチャ。



空調・設備機器の制御管理システム

クライアント

大手空調機メーカー

顧客課題

クラウド環境で開発したシステムをローカル環境に移行したい。

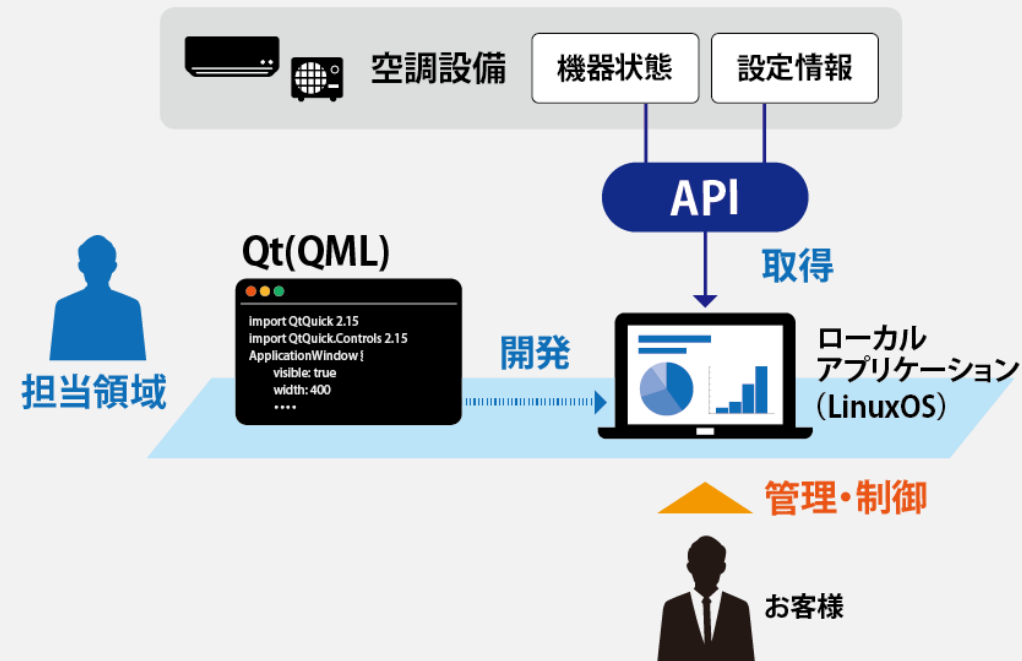
主な技術要素

- ・ Qt
- ・ QML
- ・ C++
- ・ RestAPI

開発内容

空調・設備機器の管理・制御するシステムをQt（QML）を用いて開発

- ・ API経由で各機器の状態や設定情報を取得
- ・ Qtでローカルアプリケーションとして実現



AWS CDK (IaC)

クライアント

情報サービスメーカー

顧客課題

インフラ業務において、
運用の属人化をなくしたり、
開発サイクルの高速化など
最適化を図りたい。

主な技術要素

・ AWS CDK

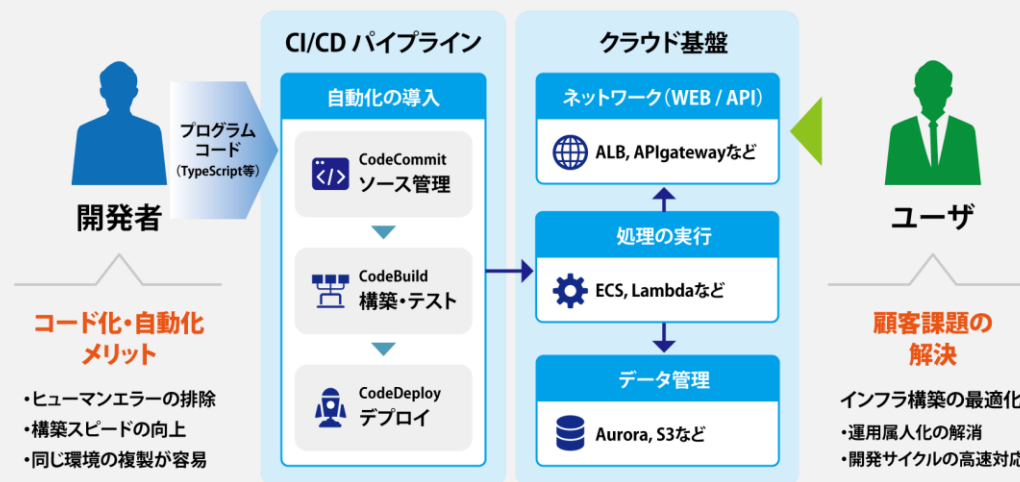
開発内容

AWSのインフラ構築をプログラムコードで記述し、自動化を実現

自動化によりヒューマンエラーの排除など開発業務の質を高めながら、
運用の効率化など顧客の課題も解決していく。

AWS CDK

インフラ構築・自動化の実現



研究室オートメーション化への開発支援

クライアント

電気機器メーカー

顧客課題

研究室の機器操作を自動化、
夜間に自動運転することで
作業効率化を計りたい。

主な技術要素

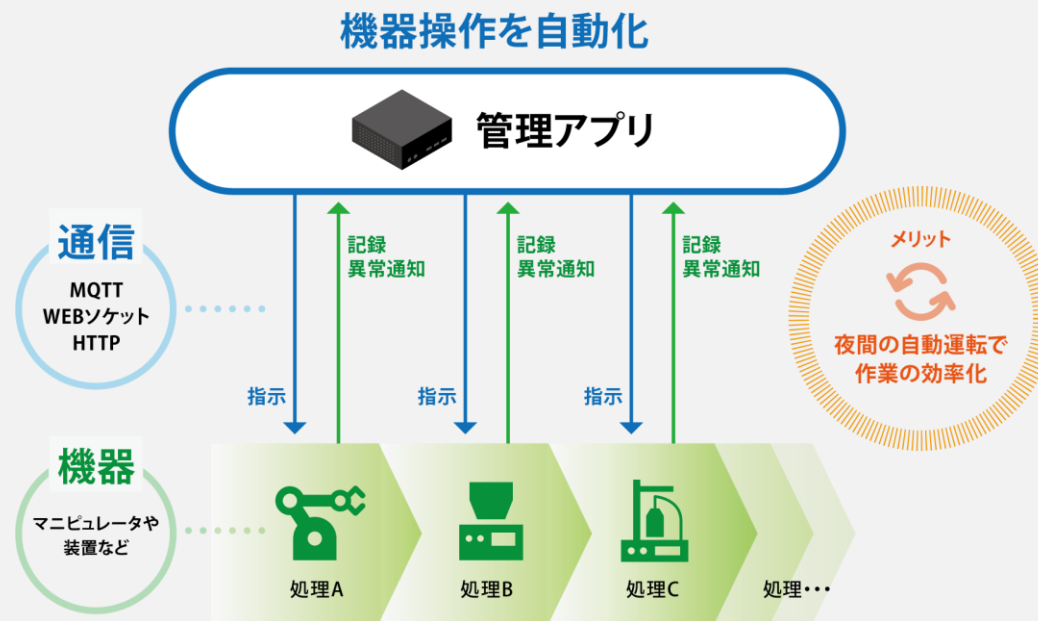
- ・ Docker
- ・ Vue3
- ・ FastAPI
- ・ postgresql
- ・ mosquitto
- ・ 通知機能

(firebase プッシュ通知、teams webhook)

開発内容

研究室の機器を自動操作する管理アプリの開発

- ・ 管理アプリが各機器の状態や設定情報を取得
- ・ シナリオに沿った作業指示を行っていく



社内情報問い合わせ窓口（チャットボット）

導入前の課題

- 新入社員が社内資料や就業規則把握に時間を要する
- QA時の先輩社員、バックオフィスの負荷

導入AI・ソリューション

- NotebookLM

導入後の成果・効果

- チャットベースで遠慮なく質問が出来るので、新入社員のスムーズなオンボーディングが可能
- 問い合わせが大幅に減少し、先輩社員、バックオフィス負荷軽減
- 回答根拠を出力させることでファクトチェックがスムーズ



本画像はAIとの共創によりデザインしました

1on1アジェンダ自動作成

導入前の課題

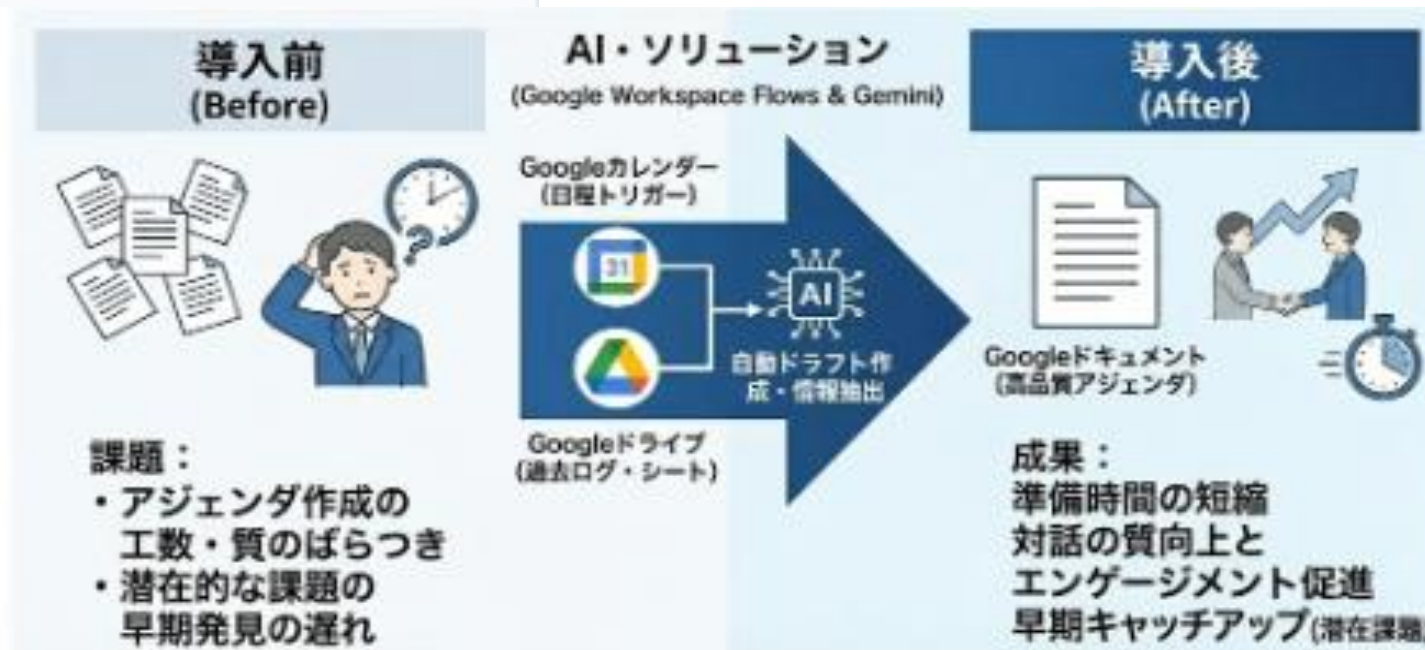
- アジェンダ作成の工数・質のばらつき
- 潜在的な課題の早期発見の遅れ

導入AI・ソリューション

- Google Workspace Flows/Gemini (Gem)

導入後の成果・効果

- アジェンダ作成・準備時間の短縮
- 対話の質向上とエンゲージメント促進
- 潜在的な課題・変化の早期キャッチアップ



日報の課題収集ツール

導入前の課題

- 日報に記載された課題の検知遅れ
- 管理者日報チェックによる管理上の負荷
- 目視による見落とされるリスク

導入後の成果・効果

- 課題発生から管理者認知までのリードタイムを短縮
- 以下の兆候を自動抽出し、組織ナレッジとして可視化
「育成課題」「業務阻害要因」「営業チャンス」

導入AI・ソリューション

- Google Workspace Flows/Gemini (Gem) /Pythonスクリプト



面接支援ツール

導入前の課題

- 初めて面接官をする際、質問や評価方法が分からない
- 履歴書や経歴書から想定する質問リストの準備の負荷

導入後の成果・効果

- 事前に候補者（AI）との壁打ちが可能となり、面接官の教育ができる
- NG判断の回答例を事前に閲覧でき、ジャッジを補助できる

導入AI・ソリューション

- AutoGen（マルチエージェントフレームワーク）/ローカルLLM（gpt-oss: 20b）



疑似上司（デジタルツイン）

導入前の課題

- 管理職、リーダーのレビュー工数の高止まり
- 部下の育成にかかる時間を取りづらい

導入後の成果・効果

- 成果物の精度が低い時点で相談が可能
- ストレスなく壁打ちが可能、上司のレビュー工数削減

導入AI・ソリューション

- Gem（Gemini）※上司の適性試験、性格診断（MBTI診断）、レビュー観点メモなどを学習



本画像はAIとの共創によりデザインしました

寝ている間も開発は進む！自律開発AIエージェント

課題：開発の「スキマ時間」



開発が止まってしまう
時間がある

会議中、休憩中、夜間など、人が
作業できない時間は意外と多い。



APIによる自動レビュー
はコストが高い

既存のサービスを利用すると、
コストが課題になりやすい。

解決策：自律開発AIエージェント



「指示」だけで
AIが自動で実装

instruction

やることを書き、ラベルを付ける
だけでコーディングが完了する。



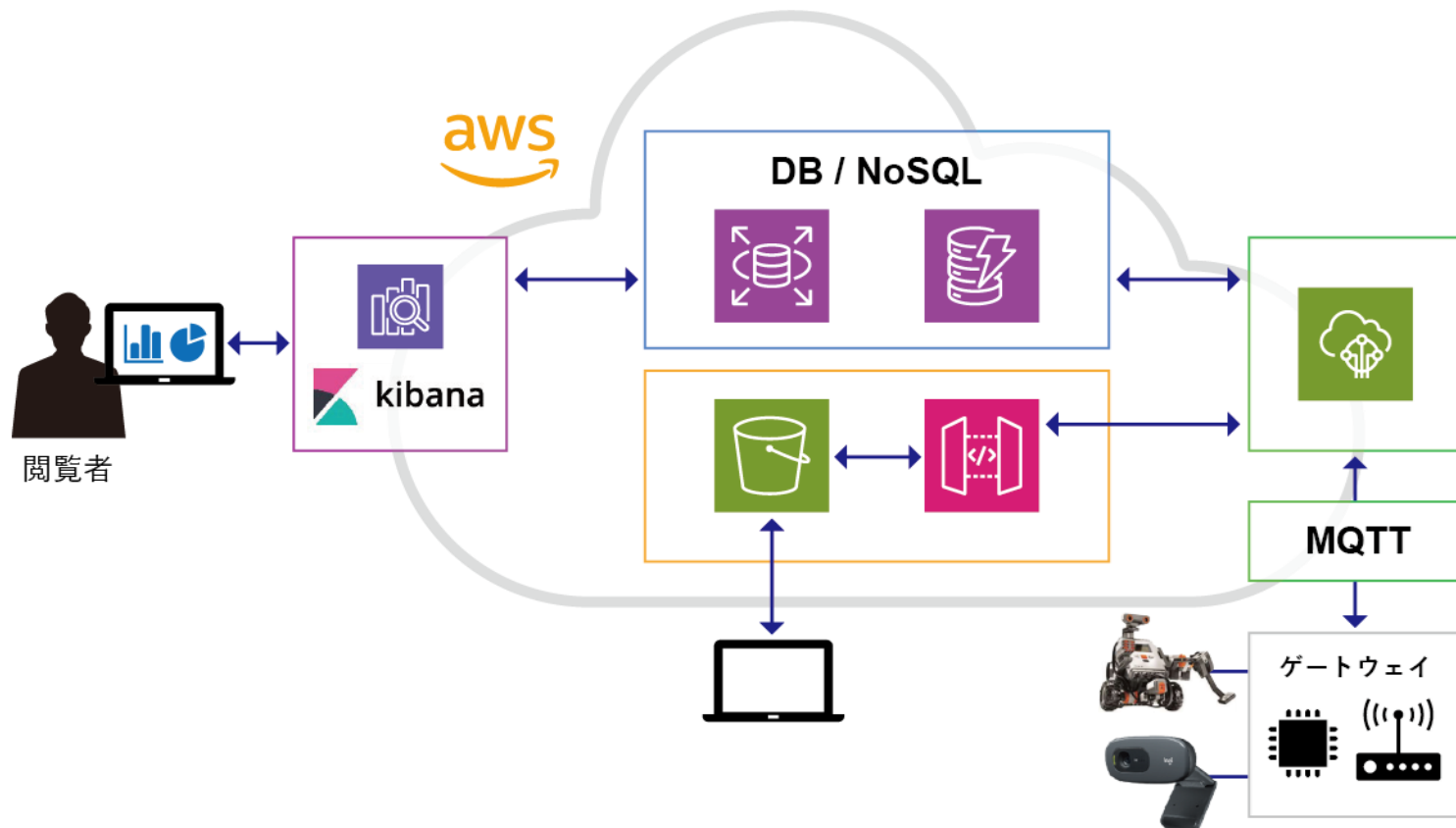
レビューや修正も
ラベル一つでOK

AIが自動でコードをチェックし、
人間のコメントも参考に修正する。

IoTソリューション（AWS活用）

データを収集・蓄積し、見える化

センサやPLCなどのデータをゲートウェイで集めて、クラウドやオンプレに蓄積し見える化する

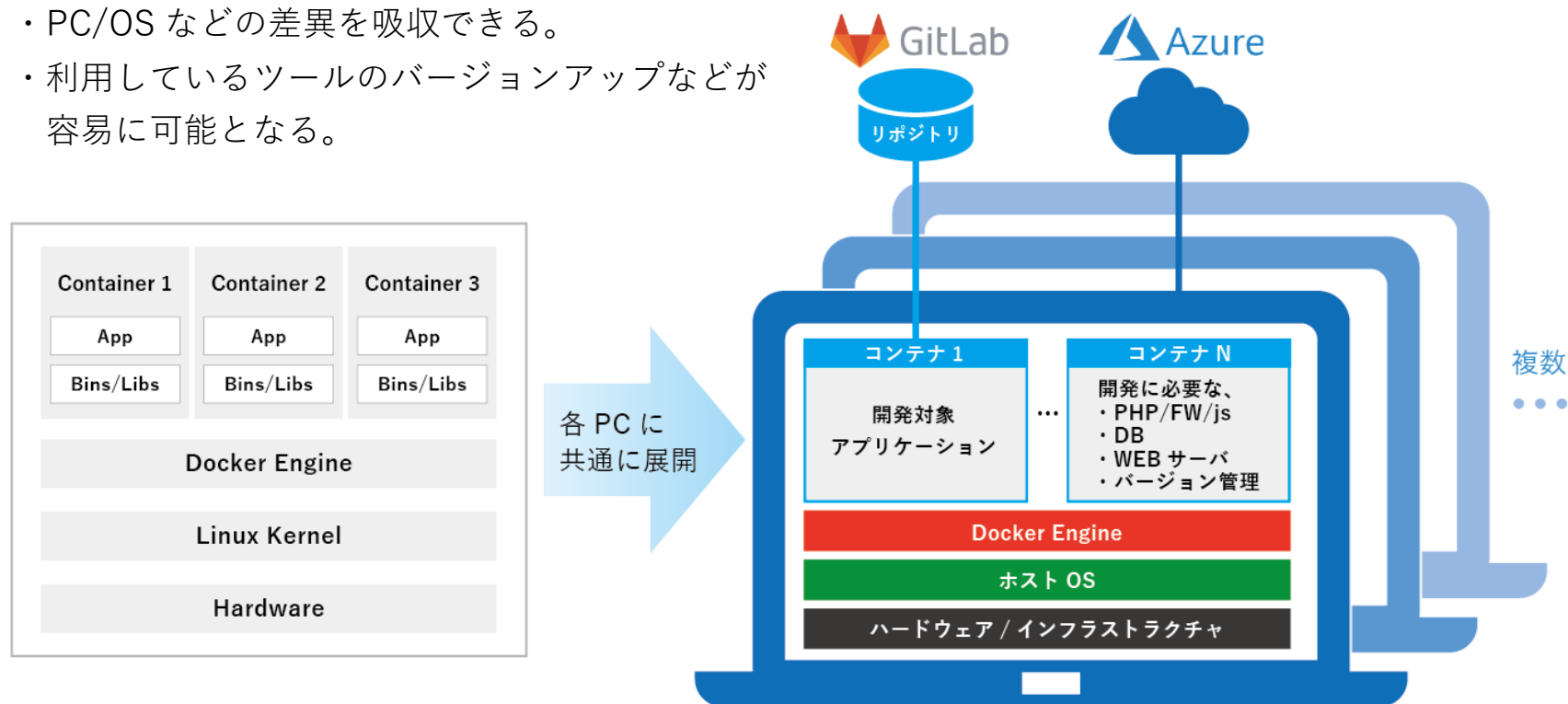


開発環境へのDockerの利用

開発環境の整備

クラウドを利用したアプリケーション開発において、複数の開発者が利用できる共通の環境を提供する

- ・ PC/OS などの差異を吸収できる。
- ・ 利用しているツールのバージョンアップなどが容易に可能となる。



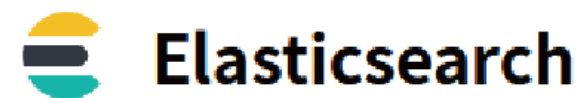
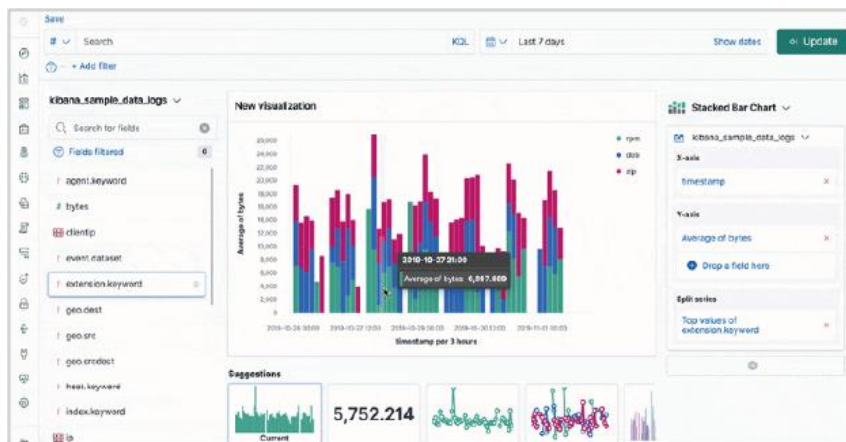
OSS活用（可視化ツール）

データ分析（BI）のプラットフォームとして活用できそうな可視化ツール



データ探索・可視化・分析

データを可視化し、データ間の関係性を探るための
独自の方法を作成する能力
追加のコーディングやインフラは不要
強力な異常検知システム
Elasticsearch（検索）との連携が良い



分散型検索/ 分析エンジン

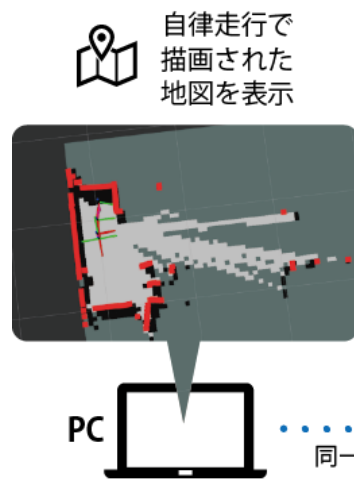
Elasticsearchは Elastic社が開発している
オープンソースの全文検索・分散型RESTful検索/ 分析
エンジンです。
超高速検索や、関連性の細かな調整、パワフルな分析が
大規模に、手軽に実行可能です。



自律走行のシステム構築

ROSで人間の操作なしにロボットを自律走行

ロボットが地図を作成
経路を計画し、移動する



ライトローバー
(ロボット)



活用例

倉庫・物流
商品ピック・移動

大規模オフィス
点検サービス

商業施設
配膳・案内サービス

自律走行を支える技術・ツール



Raspberry Pi はRaspberry Pi 財団の登録商標または商標です。ROS はOpen Source Robotics Foundation, Inc. によるオープンソースのプロジェクトです。その他、記載されている製品名などの固有名詞は、一般に各社の登録商標または商標です。